

2023 年6月 30 日

「中小企業向けSDGsガイドライン」の提供開始 ～SDGs取組みを通じて地域・社会の持続性確保に貢献～

第一生命保険株式会社(代表取締役社長:隅野 俊亮、以下「当社」)は、慶應義塾大学 SFC 研究所 xSDG・ラボ(代表:蟹江憲史)との共同研究により中小企業向け SDGs ガイドライン(以下「ガイドライン」)を作成し、2023 年7月3日より中小企業向けに提供を開始します。

ガイドラインはこちら https://www.dai-ichi-life.co.jp/dsr/society/challenges/pdf/sdgs_guideline_001.pdf



1. ガイドライン提供の背景・目的

当社が 2021 年6月に実施した SDGs 取組みの実態調査を目的としたアンケート調査※によると社会貢献活動に取り組むべきと考える企業は 67%に上る一方で、実際に SDGs に取り組んでいる企業は 25%とギャップが生じている実態、SDGs 取組みへ望まれる支援として、「助成金制度」(37%)や「税制優遇制度」(29%)など制度的な支援のほか、「何に取り組むべきか教えてほしい」(17%)といったコンサルティング支援の割合が高い傾向を鑑み、出来るだけわかりやすく、効果的な SDGs の取組みは何かという観点からガイドラインを作成しま

した。

当社は、「安心の先にある幸せへ。」をビジョンとして掲げ、これまで提供してきた生命保険による「保障」の枠を超えて、一人ひとり違う幸せの実現のお手伝いをしています。その幸せは、持続的社會(サステナビリティ)があってこそ実現することから、ガイドラインの提供を通じ、中小企業の皆さまの更なる取組みの一助となることで、従来以上に地域・社會の持続性確保に貢献していきます。

※中小企業を中心に約3万社に「SDGsに関するアンケート調査」を実施 https://www.dai-ichi-life.co.jp/company/news/pdf/2021_052.pdf

2. ガイドラインの概要

(1)構成

以下3つのステップをふむことで、SDGsの取組みに活かすことができます。

- Step1「まなぶ」 SDGsとは何か、企業が取り組む理由や具体的なイメージがわかる
- Step2「しらべる」 自社のSDGsの取組み状況を把握するためのチェックシートを掲載
- Step3「おこなう」 実際に取り組むにあたっての目標や具体策・支援策(助成金・事例など)を紹介

【取組みステップ】

【チェックシート】

SDGsの取組ステップ

自社でSDGsの取組みをスタートするには、段階を踏むことが大切です。ここでは、スムーズに進めるために3つのステップに分けてそのポイントをお伝えします。

- Step1 **まなぶ**
SDGsとは「誰のため・人のため・未来のため」ということ、SDGsに取組むメリット・取組まないデメリットを理解する。
- Step2 **しらべる**
すでに取組んでいるSDGsの洗い上げを行い、さらに今後の取組予定・将来リスクを把握する。
- Step3 **おこなう**
「いつ・だれが・どのように」を行うか、目標・スケジュールを確定し、実行する。

しらべる **すでに取組んでいるSDGsの洗い上げ** 経営者個人

SDGsを自社で取組んでいくためには、まず、取組状況を整理する必要があります。すでに取組んでいること、今後の取組予定、将来リスクを書き出してみよう。

すでに取組んでいること	今後の取組予定
<input type="checkbox"/> 継続経営	(例) 主要業務を対象とした生活費削減の研修の実施
<input type="checkbox"/> 人材育成	
<input type="checkbox"/> 女性活躍推進	
<input type="checkbox"/> 仕事と育児の両立	
<input type="checkbox"/> 仕事と介護の両立	
<input type="checkbox"/> 働き方改革	
<input type="checkbox"/> 外国人雇用	
<input type="checkbox"/> 高齢者雇用	
<input type="checkbox"/> 労働安全衛生	
<input type="checkbox"/> その他	

人への配慮

経営リスク

(例) 従業員が健康が損なわれる

(2)特長

①SDGs アンケート結果の掲載

2022年12月1日～2023年3月31日に中小企業に対し、SDGsの項目毎の具体的な取組状況などに関するアンケートを行い、17,667社より回答いただきました。その結果をふまえ、具体的な取組みの参考となるよう経営者が選んだSDGsの取組みの上位項目をランキング形式で掲載。

【アンケート結果のランキング】

おこなう **女性活躍推進の具体策**

女性活躍の重要性が認識されるようになる中、SDGsを推進するためのひとつとして女性が十分に活躍できる社會の実現が挙げられています。

アンケートで経営者が選んだ取組みの上位6項目

- 1 事務だけでなく、営業職・技術職などに配置
- 2 育児短時間勤務制度・育児休暇取得制度
- 3 職場環境整備(トイレ・更衣室など)
- 4 時間有給休暇制度
- 5 介護休業制度
- 6 特別な休暇制度(利用目的を問わない)

【アンケート結果】 2022年12月1日～2023年3月31日に中小企業向けSDGsアンケートを17,667社実施した結果の上位6項目を紹介しています。

②省庁情報の紹介

各省庁が提供している SDGs に関する助成金・事例・マニュアルなどのアクセスコードをガイドラインに掲載し、企業の皆さまが効率的に活用出来ます。

【各省庁情報へのアクセス】



【慶應義塾大学 SFC 研究所 xSDG・ラボ】

慶應義塾大学SFC研究所xSDG・ラボとは

慶應義塾大学SFC研究所xSDG・ラボでは、社会諸問題を解決するためにSDGsという切り口から、企業との共同研究や産官学連携により個別課題を掘り下げ、アカデミアの枠を超えたソリューション指向の研究を実施し、SDGsのベストプラクティスを創出・集積します。



<https://xsdg.jp/#about>



ラボ代表 慶應義塾大学大学院
蟹江憲史教授

専門は国際関係論、サステナビリティ学、地球システム・ガバナンス。国連におけるSDGs策定に、構想段階から参画。SDGs研究の第一人者であり、研究と実践の両立を図っている。博士(政策・メディア)